



福県医発第1592号（地）
平成23年10月 5日

各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会
会 長 松 田 峻一良
（ 公 印 省 略 ）

季節性インフルエンザワクチンの安定供給対策の徹底について

インフルエンザワクチンの安定供給対策につきましては、平成23年8月25日付け福県医発第1280号（地）にてご連絡しておりますが、今般、北里第一三共ワクチン（株）のワクチンにトリレオウイルスの混入が確定し、約236万本のワクチンが出荷不可能となったことを受け、厚生労働省より安定供給対策の徹底について通知があった旨、日本医師会より別添のとおり連絡がありましたのでお知らせいたします。

本件は、9月下旬の初期出荷時期に北里のワクチンを予約していた医療機関において、ワクチンが一時的に不足する状況が予想されるため、①医療機関に対しては、ワクチン接種に支障をきたす場合を除いてはワクチンの分割納入に協力すること、②販売業者及び卸売販売業者に対しては、互いに協力し、北里のワクチンを予約・注文していた医療機関等においてワクチンの不足が発生している場合には、他社のワクチンを融通すること等によりワクチンの偏在が起らないよう努めること等を求めるものです。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了知いただき、会員各位への周知方よろしくお願い申し上げます。

なお、例年のワクチン接種のピーク（11月）前である10月下旬までには、本年8月31日時点の予約本数（約1,715万本：1ml換算）は市場に供給される予定です。返品を前提とした注文及び在庫管理を行わないよう重ねてご協力をお願い申し上げます。

小郡三井医師会より

予防接種担当理事 松行眞門
会長 蒲池 壽

(地Ⅲ142F)

平成 23 年 10 月 4 日

都道府県医師会・郡市区医師会
感染症危機管理担当理事 殿

日本医師会感染症危機管理対策室長
保 坂 シゲリ

季節性インフルエンザワクチンの安定供給の徹底について

今期の季節性インフルエンザワクチンのうち、北里第一三共（株）が出荷を予定していた約 478 万本のうち、約 236 万本が出荷できない状況になりましたことは、9 月 22 日付文書（地Ⅲ134）をもってご連絡差し上げたところです。

今般、これらの状況を受け、厚生労働省から各都道府県の衛生主管部局に対して、添付のとおり通知が発出され、小職にも協力依頼がありましたのでご連絡申し上げます。

今回の通知は、以下のことに対する協力を求めることを趣旨としています。

- ① 販売業者及び卸売業者に対して、北里第一三共（株）のワクチンを予約していた医療機関においてワクチンの不足が発生している場合は、他社のワクチンの融通等を行い、ワクチンの偏在が起こらないよう努める。
- ② 医療機関に対して、予約に基づく適切な数の分割購入を行う。

つきましては、本件について貴会会員に対して周知いただきたく、ご高配のほどよろしくお願い申し上げます。

なお、今後も供給状況につきましては必要に応じ情報提供してまいります。

健感発 0926 第 5 号

薬食血発 0926 第 11 号

平成 23 年 9 月 26 日

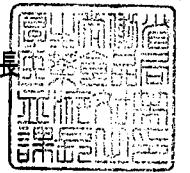
社団法人日本医師会感染症危機管理対策室長

保坂 シゲリ 殿

厚生労働省健康局結核感染症課長



厚生労働省医薬食品局血液対策課長



季節性インフルエンザワクチンの安定供給対策の徹底について

今冬の季節性インフルエンザワクチンの安定供給対策については、「インフルエンザワクチンの安定供給対策について」平成23年8月8日付健感第0808第2号・薬食血第0808第5号健康局結果感染症課長及び医薬食品局血液対策課長連名通知（以下「8月8日付連名通知」という。）をもって貴職あて通知したところである。

その後、本年9月12日に北里第一三共ワクチン(株)（以下「北里」という。）のワクチンの一部で、品質試験において不適合の可能性のあることをお知らせしたところであるが、その再試験の結果、トリレオウイルスの混入が確定し、約236万本のワクチンを出荷することが不可能となった。その結果、今冬のワクチンの供給予定量は、平成23年9月22日時点で、約2,700万本となる見込みである（別添参照）。

9月下旬の初期出荷時期に北里のワクチンの納入を予約していた医療機関の一部では、ワクチンが一時的に不足する状況も予想されるため、貴職におかれては、ワクチンが混乱なく安定的に供給されるよう、8月8日付連名通知における分割納入の要請等の記載事項を徹底すべく、貴団体傘下の医療機関等に対して、以下の事項について周知を行うとともに、協力を要請されたい。

なお、各都道府県衛生主管部（局）長には、別添（写）の通り通知したことを申し添える。

記

1. 販売業者及び卸売販売業者は、互いに協力し、北里のワクチンを予約・注文していた医療機関等において、ワクチンの不足が発生している場合には、他社のワクチンを融通すること等により供給を随時行い、ワクチンに偏在が起こらないように努めるよう指導しているため、医療機関もこの取扱いに協力すること。
2. 医療機関等は、例年のワクチンの接種ピーク（11月）前である10月下旬までには、本年8月31日時点の予約本数（約1,715万本、1ml換算。）は市場に供給される予定であることを踏まえ、返品を前提とした注文及び在庫管理は行わないようにすること。



医政経発 0926 第 1 号

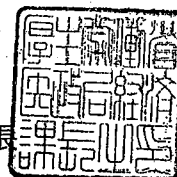
健感発 0926 第 5 号

薬食血発 0926 第 8 号

平成 23 年 9 月 26 日

各都道府県衛生主管部（局）長 殿

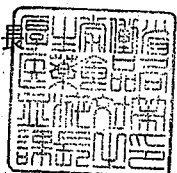
厚生労働省医政局経済課長



厚生労働省健康局結核感染症課長



厚生労働省医薬食品局血液対策課長



季節性インフルエンザワクチンの安定供給対策の徹底について

今冬の季節性インフルエンザワクチン（以下「ワクチン」という。）の安定供給対策については、「インフルエンザワクチンの安定供給対策について」平成 23 年 8 月 8 日付医政経第 0808 第 1 号・健感第 0808 第 1 号・薬食血第 0808 第 2 号医政局経済課長、健康局結核感染症課長及び医薬食品局血液対策課長連名通知（以下「8 月 8 日付連名通知」という。）をもって貴職あて通知したところである。

その後、本年 9 月 12 日に北里第一三共ワクチン（株）（以下「北里」という。）のワクチンの一部で、品質試験において不適合の可能性のあることをお知らせしたところであるが、その再試験の結果、トリレオウイルスの混入が確定し、約 236 万本のワクチンを出荷することが不可能となった。その結果、今冬のワクチンの供給予定量は、平成 23 年 9 月 22 日時点で、約 2,700 万本となる見込みである。（別添参照）

9 月下旬の初期出荷時期に北里のワクチンの納入を予約していた医療機関の一部では、ワクチンが一時的に不足する状況も予想されるため、貴職におかれては、ワクチンが混乱なく安定的に供給されるよう、8 月 8 日付連名通知における分割納入の要請、在庫量の把握体制等の記載事項を徹底すべく、管内関係者に対して、以下の事項について周知を行うとともに、協力を要請されたい。

また、インフルエンザ対策委員会等の管内の体制づくり及び関係者への周知、指導を進めていただくとともに、予防接種法（昭和23年法律第68号）上の予防接種の実施主体である市区町村とも協力し、ワクチンの安定供給対策を推進していただくようお願いする。

記

1. ワクチンの製造販売業者、販売業者及び卸売販売業者は、医療機関等の関係者に対して、ワクチンに関する今後の製造量、納入時期等の正確な情報提供を行うことに努めること。
2. 販売業者及び卸売販売業者は、互いに協力し、北里のワクチンを予約・注文していた医療機関等において、ワクチンの不足が発生している場合には、他社のワクチンを融通すること等により供給を随時行い、ワクチンに偏在が起らないように努めること。また、医療機関からの予約・注文を受ける際には、ワクチンに関する在庫量等の正確な情報提供を行うことに努めること。
3. 医療機関等は、例年のワクチンの接種ピーク（11月）前である10月下旬までには、本年8月31日時点の予約本数（約1,715万本、1ml換算。）は市場に供給される予定であることを踏まえ、返品を前提とした注文及び在庫管理は行わないようにすること。

平成23年9月22日
医薬食品局血液対策課
(担当・内線) 課長 三宅(2900)
 丈達(2901)
 今井(2907)
(電話代表) 03(5253)1111
(電話直通) 03(3595)2395

報道関係者 各位

季節性インフルエンザワクチンの供給量について(第2報)

9月12日に、北里第一三共ワクチン(株)(以下「北里」という。)の季節性インフルエンザワクチンの一部に、品質試験で不適合の可能性があることをお知らせしました。

その再試験の結果、トリレオウイルス(※)の混入が確定し、約236万本分の季節性インフルエンザワクチンを出荷することができなくなりました。その結果、今シーズンのインフルエンザワクチンの供給予定量は約2,700万本となります。

現時点では、需要予測やそれに基づく近年の供給実績及び実際の使用実績を見ると、今シーズンの需給への影響は少ないものと考えられます。一方、インフルエンザワクチンが混乱なく安定的に供給されるよう、各都道府県等に分割納入、在庫量の把握体制や医療機関の在庫状況の住民への周知体制の確立等の徹底を求めます。

また随時、情報提供を行っていく予定です。

【参考】

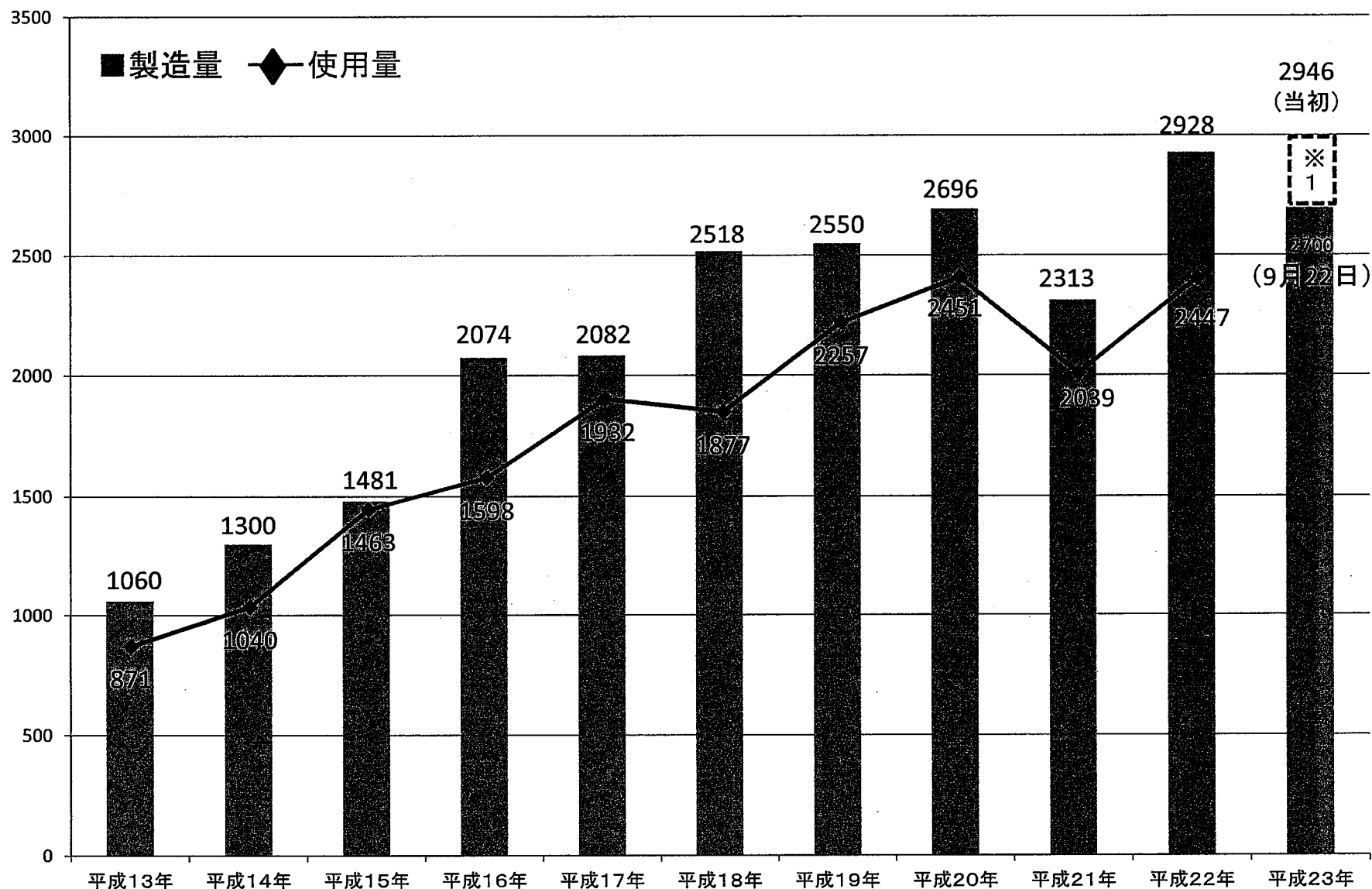
1. 今シーズンのインフルエンザワクチン供給予定量: 約2,700万本
2. 今シーズンのインフルエンザワクチン需要予測: 約2,771万~2,798万本
3. 北里の製造予定量: 約242万本

(※ トリレオウイルスは、トリの関節炎の原因ウイルスです。ヒトに対する病原性は知られていません。)

【数量:万本】

インフルエンザワクチン製造量及び使用量の推移

平成23年9月22日



※1 平成23年度の供給予定量は約2,946万本であったが、北里第一三共ワクチン(株)の供給量減少により、9月22日時点の供給予定量は約2,700万本。【年度】

※2 1ml換算。